

2022年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
マンガ制作実習 5											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	コバシコ／オギノユーヘイ			実務経験	有	職種	マンガ家				
担当教員紹介											
マンガ家。 代表作に『教えて!コエ姉さん』『葉月カノンは甘くない。』『壁にメリー.com』など。 最新作にマガジンポケットにて連載『ブラック国家を追放されたけど【全自動・英霊召喚】があるから何も困らない。 ～最強クラスの英霊1000体が知らないうちに仕事を片付けてくれるし、みんな優しくて居心地いいんで、今さら元の国には戻りません。～』がある。											
授業概要											
この科目では、全員共通の課題として16P以上のマンガを前期期間で制作を行う。制作において、常にプロのマンガ家・編集者より直接的にストーリーや表現方法について学ぶことにより、マンガ業界で発表していくために必要な知識・技術を磨いていく。定められた期間で作品制作することにより、クリエイターとして、仕事としての意識に必要な事項である創作活動とスキルのアップ、協力相談の大切さ、べ切厳守等を学ぶ。現職のマンガ編集講師からの最新情報、業界研究を学び企画側と描く側、読み手の三つの観点からマンガを捉えることを目的とする。											
到達目標											
この科目では、作家において必要なマンガ表現の技術・知識を磨くと共に、編集者としての考え方や作品の売り出し方を学び、企画側と描く側、読み手の三つの観点からマンガを捉えることを主目標とする。授業内で制作する課題は、必ず出版社への持込み・投稿を行う他に、コンテストへの応募や個人でWEB上に上げていくことで、在学中における受賞やデビューも目標とする。											
授業方法											
この授業では、常にプロのマンガ家・編集者より作品の添削を行いながら課題制作を行うことにより、マンガ業界で発表していくために必要な知識・技術を磨きつつ、企画側・描く側・読み手の三つの観点からマンガを捉えることにより多角的な考え方を身に付けていきます。授業内で制作する課題は、デビューや就職のために外部への発表や、投稿・持込みも率先して行う。											
成績評価方法											
課題	70%	課題を総合的に評価									
成果発表	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価									
履修上の注意											
この授業では、2年次の授業の応用となるため復習を行い、授業内ではしっかりと先生の話を聞くだけでなく、必ずメモを取るように指導を行う。常に制作する作品は仕事と同義であると認識させ締切を守る意識を養うため課題の提出厳守及び、遅刻や欠席は認めない。4分の3以上の出席をしない者は、課題の評価対象にならない。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	ネーム講座 高橋講座（漫画編集者 月1回講座） 前期制作プロット ネーム進行										
第2回	ストーリー講座 コマワリ構成 前期制作ネーム直しべ切										
第3回	キャラクターカアップ講座 前期制作下描き										
第4回	前期制作下描きべ切										
第5回	業界研究講座 漫画編集者とマンガ家来校 前期制作ペン入れ										
第6回	ペンタッチ講座① 前期制作ペン入れ										

2022年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
マンガ制作実習 5	
第7回	ペンタッチ講座② 前期制作ペン入れ
第8回	ペンタッチ講座③ 前期制作ペン入れ
第9回	ペンタッチ講座④ 前期制作ペン入れ
第10回	業界研究講座 出版社代表 編集長来校
第11回	仕上げ効果講座① 前期制作トーン処理
第12回	仕上げ効果講座② 前期制作トーン処理
第13回	仕上げ効果講座③ 前期制作トーン処理
第14回	仕上げ効果講座④ 前期制作トーン処理
第15回	前期制作〆切 講評会 修了制作ネーム考案